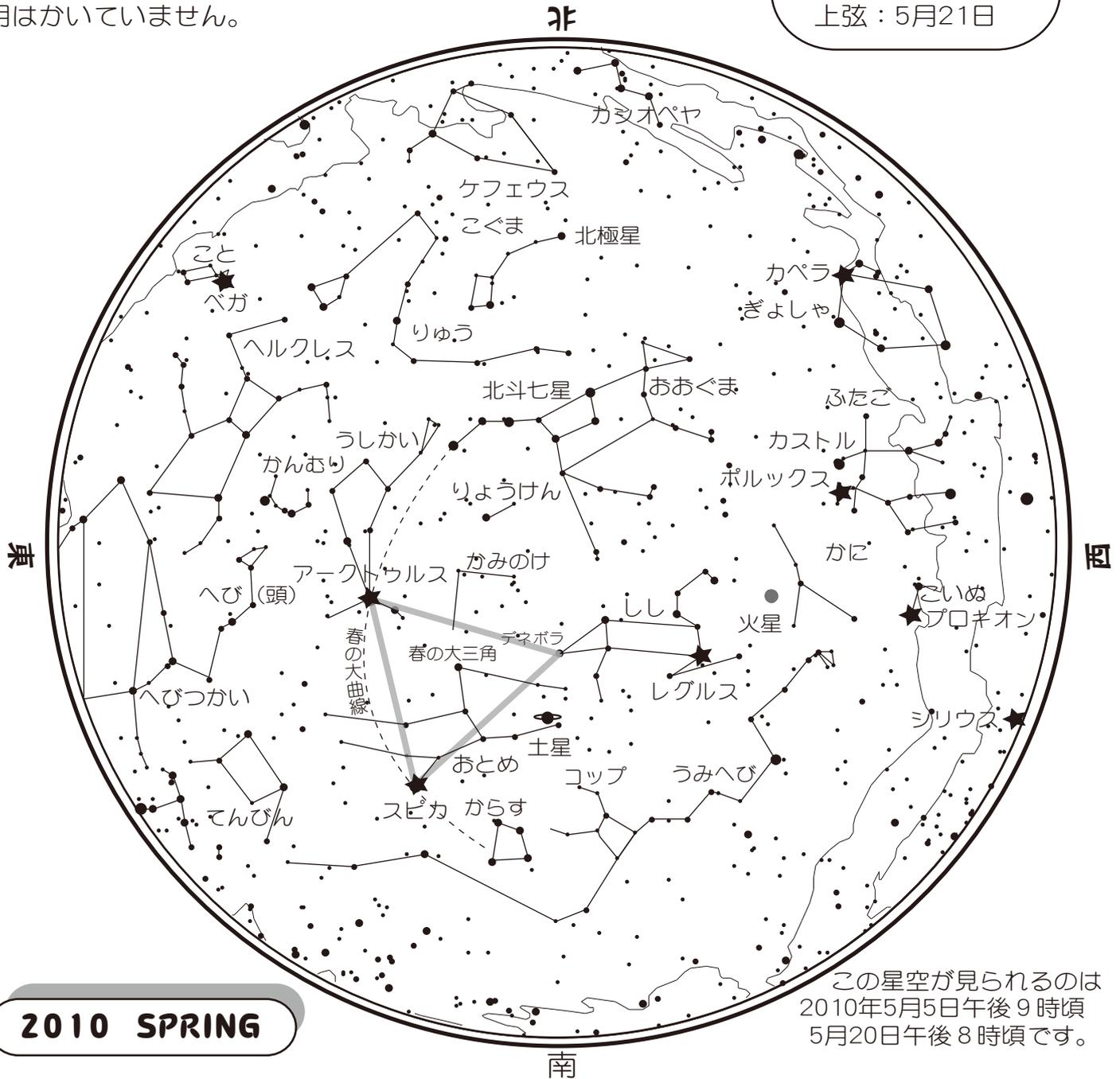


# ★ 姫路で見る5月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。  
★は一等星を表しています。  
月はかいていません。

下弦：5月6日  
新月：5月14日  
上弦：5月21日



この星空が見られるのは  
2010年5月5日午後9時頃  
5月20日午後8時頃です。

2010 SPRING

夕暮れの西の空で一番星として輝くのは宵の明星、金星です。また、すっかり暗くなってからは、同じ太陽系の惑星の仲間、火星や土星も明るく輝いています。

春の星座のかに座、しし座、うみへび座はギリシャ神話では、人々を困らせていた化け物星座として登場します。まずは、？(はてな)のうら返しと一等星のレグルスを目印に、しし座から探してみましょう。

北の空高くに、7つの星が水をすくう「ひしゃく」の形に並んだ北斗七星が見えています。ひしゃくの柄の部分のカーブをコンパスで半円をえがくようにのぼしていくと、うしかい座のアルクトゥルス、おとめ座のスピカの二つの一等星を見つけることができます。北斗七星の柄の部分からのぼした、スピカ、アルクトゥルス、さらにその先のからす座までの星の並びを「春の大曲線」と呼んでいます。また、アルクトゥルスとスピカ、しし座のしっぽの星デネボラをおすんでできるのが「春